

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

平林小	学校
-----	----

児童数	18
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.82	21.64	35.73	41.91	40.91	9.88	138.45	23.55	53.09
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	17.60	18.60	37.60	36.80	52.40	9.30	136.20	20.60	57.20
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

- ①体力合計点は、男女とも大阪市および全国平均を上回っている。種目別では、男女ともに、握力・上体起こし・ソフトボール投げが全国平均を上回っている。しかし、立ち幅跳びに関しては男女とも全国平均を下回っている。
- ②質問紙の結果から、「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答において、男子は90.9%で、概ね運動に親しむ児童が多い。女子は60%で運動やスポーツをすることに對して、苦手意識を持つ児童が多いことが分かった。しかし、男女とも肯定的な回答が全国平均を下回っている。
- ③運動する時間は、質問紙の結果から、「1週間の総運動時間が60分未満」の児童の割合は、男子が9.1%・女子が0%の結果であり、普段から運動をしている児童が多いことが伺える。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ①校内の体育科の学習において、遊具を有効活用して体力向上を図ることで、全国平均を上回った種目数が増えた。課題の「立ち幅跳び」は、3学期のみ実施していた「なわとび運動」を、年間を通して行うことで改善を図る。
- ②学級活動において、週に1回以上「外遊び」の時間を設けることで、運動の苦手な児童が、友だちと一緒に楽しく運動する機会をつくることができた。今後は、さらに運動に親しむ機会を作るために、「なわとび週間」や「かけ足週間」を実施する際に、発達段階に合わせた「頑張りカード」を作成し、自分の頑張りを可視化することで、運動意欲の向上を目指す。
- ③休み時間には運動場だけでなく、芝生広場（通称：平芝）を活用することで、様々なスポーツに親しむことができ、運動をする機会が増えた。さらに、運動する機会を創出するために、全校集会などで児童全員が楽しみながら運動の向上が期待できる取り組みを行う。